

原子力試験研究費

想定地震の特性を考慮した設計用地震動に関する研究

Study on Design Ground Motion Considering Characteristics of Scenario Earthquakes

(研究期間 平成 14～17 年度)

危機管理技術研究センター地震防災研究室
Research Center for Disaster Risk Management
Earthquake Disaster Prevention Division

室長
Head
主任研究官
Senior Researcher
研究官
Researcher

日下部 毅明
Takaaki KUSAKABE
片岡 正次郎
Shojiro KATAOKA
松本 俊輔
Shunsuke MATSUMOTO

〔研究目的及び経緯〕

現在、原子力施設の耐震設計基準では、敷地に重大な影響を及ぼすと考えられる地震を想定して基準地震動を作成し、それをもとに設計用地震動を設定することとされている。しかし、基準地震動はマグニチュードと震央距離のみから作成される場合が多く、想定地震が発生した場合に敷地で生じる地震動の特性が必ずしも十分には反映されていない。このような背景から、本研究は想定地震の特性を取り入れることにより、従来よりも地震動の特性を適切に反映した設計用地震動の設定手法を開発することを目標として実施するものである。15年度は、マグニチュード5以上の中規模及び大規模地震を対象として、加速度震源スペクトルの短周期レベルをパラメータとした地震動強度の評価式を作成した。